

舞岡川

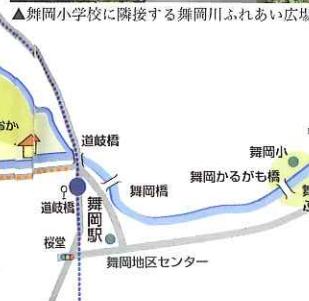
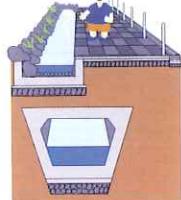
舞岡小学校の運動場にそって流れている川が舞岡川です。舞岡川の水源は、舞岡公園内にあります。そして、柏尾川に合流します。

●

舞岡町小川アニメティのなぞ

舞岡駅から舞岡公園に向かって遊歩道（小川アニメティ）を歩いていると、水が湧き出しています。少し行くと、今度は水が吸い込まれています。どうなっているのでしょうか？

実はこのアニメティとても面白い構造をしています。みなさんが見ているのは2階の部分だけですが、水のほとんどは1階を流れています。水の湧き出しと吸い込みは、2階を流れる水を、橋の下を通す工夫なのです。水はいったん吸い込まれて橋の中の管を通り、湧き出し口から出てきます。高低差を利用したおもしろい仕かけになっています。



舞岡川の水源1



舞岡川の水源2

舞岡川 ふれあい広場

校庭が約 2000 平方メートルで、通常の半分くらいと狭く、子どもたちは、川をふくめて遊べる場が欲しいという願いを訴えていました。

これを受け PTA、地域の人たちも校庭と一体化して利用できるよう昭和 63 年に市に要望を出しました。市では、河川の改修とあわせて河川敷を約 80 メートルにわたって整備しました。



川底に玉砂利を敷いたり、魚の住める深みや流れの音を出す段差をつくりたり、川岸で遊べるスペース等を設けたり、せせらぎと川原が新設されました。

土手には、シロツメグサなどが植えられ寝っ転がれるようになっていて、プロムナードのフェンスには、周囲の自然をテーマにした子どもたちが描いた絵タイルがはめ込まれています。

川には、幅約 8 メートルの橋がつくられ、この欄干にも子どもたちが提案した、カルガモの成長がデザイン化され、「まいおかかるがもばし」という名前が付けられました。

川の周りには小鳥がたくさん集まるよう実のなる木や、チョウが来るようキンカンの木や、ドングリ拾いができるようにクヌギやコナラの木が植えられています。



舞岡川や近くの田畠でみられる生きもの・草花

<春>



スギナ



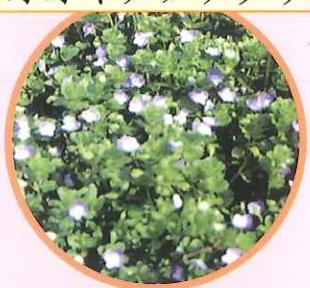
ハコベ



セイヨウタンポポ



ナナホシテントウ



オオイヌノフグリ



オイカワ



モンキチョウ

ミシシッピーアカミミガメ



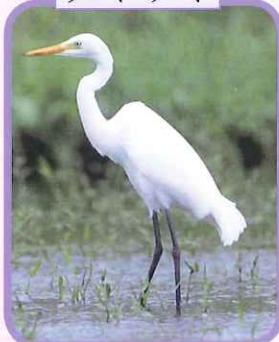
ツバメ



ハルジオン



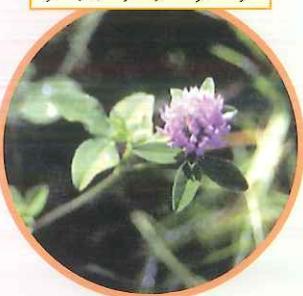
ダイサギ



カラスノエンドウ



アカツメグサ



1年中見られる鳥



メジロ



ヒヨドリ



アオサギ



カワウ

<夏>

コヒルガオ



コイ



ツユクサ



クズ



モツゴ



オオカマキリ



ショウウリョウバッタ



アレチウリ



オニヤンマ



アブラゼミ



センニンソウ



1年中見られる鳥

カワラヒワ



シジュウカラ



スズメ



コゲラ



コサギ





<秋>



・・・・・ 1年中見られる鳥 ・・・・・





＜冬＞

ジョウビタキ



オオバン



イソシギ



オナガガモ



アゲハチョウ



ピンズイ



ユリカモメ



コガモ



マガモ



フキ



1年中見られる鳥

ムクドリ



モズ



カワセミ



カルガモ



キセキレイ

